

Vitae教材

イントロダクション

研究者のための リーダーシップ入門

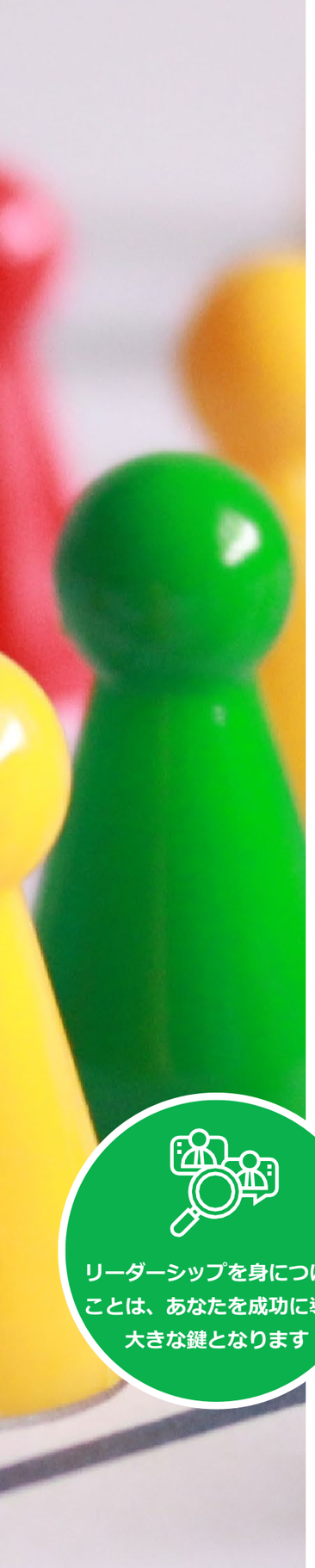
はしがき

本編は、研究者が、PI やグループリーダーとなって研究チームを率いる際に発揮すべきリーダーシップの理論やスキル、行動、そして資質について、シリーズで紹介する「研究者のためのリーダーシップ入門（Introduction to Research Leadership）」の序論です。

この教材は、世界中の研究者の専門性とキャリア開発を支援する英国の非営利団体 Vitae によって作成され、独学可能な実用ガイドとして設計されています。必要に応じて個々のパーツだけ取り上げてもよいですし、ご自分のペースに合わせながらシリーズ全てを網羅的に学ぶこともできます。

本教材を実践することで、次の 3 つの効果が期待できます。

1. リーダーに求められるスキルを身につけることで、今の仕事の生産性が上がり、キャリアアップの可能性も広がるでしょう。
2. これからのキャリアで必要となるスキルを事前に身につけておくことで、キャリアアップした後に自分の能力を効率的に発揮することができるでしょう。
3. 研究の世界では、国際化・ネットワーク化がますます進んでいます。リーダーシップに関係するスキルを身につけておけば、国際的なコミュニケーションや共同研究にも役立つでしょう。



リーダーシップを身につけることは、あなたを成功に導く大きな鍵となります

はじめに

研究者がリーダーシップのスキルを身につけておくと、物事を成し遂げられるようになったり、協力関係を築けようになったりするなど、キャリアアップを図るうえで非常に役にたちます。

本シリーズは、次の前提に基づいて、作成されました。

- 人は誰しも人生のあらゆる場面でリーダーシップを発揮する機会がある。
- リーダーは、他人の行動に影響を与えるポジションに就く前に、自分自身をうまくコントロールできる力（Self-leadership）のスキルを身につける必要がある。
- 研究者は、内省と計画を通じて自分の専門性やキャリア開発に取り組み、周囲からの支援を得ることで、目標を達成する可能性が高くなる。

本シリーズの利用方法

各パートは、30〜60 分程度で完了できるよう構成されており、内容についての理解や考察の一助となるよう演習が含まれています。中には、自分が伸ばすべき能力とそのためのアクションプランを明確にできるよう特別にデザインされたものもあります。

シリーズは次の 6 つのパートから構成されています。

1. イントロダクション（本シリーズの紹介）
2. The Vitae Researcher Development Framework （RDF とは、研究者としてのスキル、能力、行動、資質を理解し評価するためのツールです。）
3. 研究者のリーダーシップ（RDF の中からリーダーシップに関係する項目として、研究リーダーの責任・スキル・知識・資質を扱います。）
4. 研究チームの牽引（行動中心型リーダーシップのアプローチについて理解を深めていきます。）
5. ネットワーキング（研究リーダーとしてのキャリアアップと効果を高めるうえで重要なことです。）
6. キャリアマネジメント（自分のゴールにむかって明確な計画を立てることにより、キャリア形成する方法を紹介します。）

1.Denney, F., Mitchell, A., & Wheat, K. (2015). 'Developing the next generation: Guidance and good practice in the development of early career researchers and academics'. The Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited.www.vitae.ac.uk/vitae-publications/guides-briefings-and-information/developing-the-next-generation-vitae-brunel-lfhe-2015.pdf

英語オリジナル版 : Published by Vitae © 2021 The Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited
和訳版 : © 2023 Japan Science and Technology Agency

Vitae リーダーシップガイドブック ： イントロダクション

演習（ご自分のこれまでを振り返ろう）

本編にとりかかる前に、次のような振り返りの練習をするとよいでしょう。

まず、研究リーダーとしての心構えを探るために、次の言葉を読んでみてください。

「研究者にも、リーダーにも言えることだが、今後 40 年間のキャリアにおいて、いつの時点で必要となるかもしれない全てのスキルを、最初から学べるわけないよね。私は学ぶための学びは必要だと思うんだ‥」(シニア研究リーダー)[1]

ここで言う「学ぶための学び」とは何のことだと思いますか？

「キャリア初期の研究者をヘルプするために、良いことでも悪いことでもよいから、彼らの身に起こった一つ一つの出来事を自分たちで振り返らせてごらんなさい。自分の能力がどんなものかしっかり見極めるようになり、将来にむかって物事をどうすすめればよいのか、その方法を見つけることができるようになるよ‥」(シニア研究リーダー)[1]

「私自身、失敗することもあるということを若いうちに知っていればよかった。誰しもが失敗し、物事がうまくいかないことがあるが、それは必ずしも悪いことではないということを予め知っていれば、どれだけ自分の役にたったことか。」(シニア研究リーダー)[1]

あなたが経験してきたことの中から、何らかの学びの例をあげてください。あなたの学びは何でしたか？

Vitae とその会員制プログラムは、独立した登録慈善団体である **Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited** によって運営されています。CRAC 登録慈善団体番号 313164.

英語オリジナル版 : Published by Vitae © 2021 The Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited
和訳版 : © 2023 Japan Science and Technology Agency